

学会 彙報

(昭和五十六年十一月
昭和五十七年五月)

於 図書館講堂

講師 名古屋大学助教授 立川武蔵氏
講題 佛教における現象世界の聖化

——竜樹の場合——

出席 坂東学会長・諸先生・院生・学
生等総計七十三名。

◇学術懇談会

十二月十一日(金)午後二時半より

於 視聴覚教室
講師 プータン国立図書館顧問

今枝 由郎氏

講題 プータンの仏教事情
出席 坂東学会長・諸先生・院生・学
生等総計七十七名。

◇昭和五十六年度

修士論文・卒業論文梗概発表会

一月十三日(水)午後四時より

於 視聴覚教室

学会長の挨拶の後、修士論文提出者
中三名、卒業論文提出者中二十八名が
各自作成のレジュメに基づいて論文の
要旨を発表。

出席 坂東学会長・諸先生・院生・学
生等総計百余名。

◇佛教学会新入会員歓迎会

五月二十日(木)午後五時五十分

於 学内食堂

本年は新たな試みとして、学内食堂
に於て立食ビアパーティの形をとり、
会員間の和やかな親睦の一時を得た。

出席 坂東学会長・諸先生・院生・学
生等総計六十三名。

本年度の新会員は特別会員として西
村恵信氏(花園大学教授・本学非常勤
講師)、ロバート・F・ローズ氏(大谷
大学真宗総合研究所研究補助員)の二
名、普通会员に大学院博士後期課程三
名、修士課程九名、文学部四回生編入
二名、三回生編入四名、二回生佛教学
六十一名、インド学十七名で、計九十
八名である。

◇人事・昇格(昭和五十七年四月一日付)

文学部教授 小川 一乘氏
文学部助教授 片野 道雄氏

◇寄贈図書目録(雑誌を除く、受領順)

『念佛者清沢満之』
難波別院編 昭56

『金沢文庫資料全集 佛典 第五卷』

◇佛教学会史蹟踏査

十一月二十八日(土)

東本願寺にて宗祖御正忌報恩講に参
拜の後、奈良当麻寺・大阪磯長太子廟
を参拝見学する。参加者は、諸先生・
院生・学生等総計三十六名。

◇佛教学会研究発表例会

十二月三日(木)午後二時半より

於 二番教室
研究発表

法蔵の空観について

博士課程三回 赤尾 栄慶

Sankara に於ける Maya について

博士課程三回 加藤 裕善

アメリカに於ける佛教学研究の印象

教授 福島 光哉

出席 坂東学会長・諸先生・院生・学
生等総計四十三名。

◇公開講演会

十二月九日(水)午後二時半より

生等総計百余名。

『金沢文庫資料全集 佛典 第五卷』

神奈川県立金沢文庫編 昭56

“Sanskrit Fragments of the Mahāyāna Mahāparinirvāṇa Sūtra”

Akira Yuyama

The Reiyukai Library 1981

“Die Erzählstoffe des Mūlasarvāsti-vādinaya”

Jampa Losang Panglung

The Reiyukai Library 1981

『暁に聞へ』

松井憲一他著 難波別院 昭56

『決断のこゝろ』

東昇著 難波別院 昭56

『初期大乘佛教之起源と開展』

印順著 正聞出版社 中華民國70

“Sankhepathajotani Visuddhimaggacūlatīkā Sīla-Dhutaṅga”

Jion Abe Poona 1981

“Histoire de Cycle de la Naissance et de la Mart”

Yoshio Imaeda Paris 1981

“Biographies of Buddhist Nuns”

Li Jung-hsi

Tohokai, Inc. 1981

『良忍上人の研究』

融通念佛宗大念佛寺編 昭56

『高校生の主張4』

毎日新聞社編 昭56

『インド佛跡巡拝紀行』

谷直光著 昭57

◇会員出版書目

横超慧日著『涅槃経と浄土教——仏の

願力と成仏の信』平楽寺書店、昭五

十六年十二月、A5版288頁、五、八

〇〇円。

横超慧日・諏訪義純著『人物中国の佛

教 羅什』大蔵出版、昭和五十七年

二月、四六版258頁、二、〇〇〇円。

吉元信行著『アビダルマ思想』法蔵館、

昭和五十七年三月、A5版383頁九、

八〇〇円。

編 集 後 記

佛教学を標榜する諸の学術雑誌を数えあげればかなりの数にのぼる。学術雑誌はどれも似通ったものだから、ときに優れた論文を載せればそれで成功、というるか。確かにそんな一面をもっている。だから諸方から優れた人材と論文を募ることによって、そのような雑誌としての一意を満たす方途もある。しかし一つの

研究機関が自らの存否を問うて世に出す学術誌であれば如何。その機関の荷負う責務が、編集の質を決定してくるはずである。とすれば学術誌も「顔」をもつ、といえないか。

昨年の暮、名古屋大学の立川先生に、「佛教における現象世界の聖化―竜樹の場合―」と題し講演していただき、同じテーマのもと新たに執筆してもらい玉稿をいただくことができた。今回はさらに論文三編、研究ノート、書評二編、海外学界ニュースと、それに初めての試みながら横組の大窪論文を掲載した。(輝)